



教育研究所だより



平成30年 8月7日 発行

No.10

〒987-0511 登米市迫町佐沼字袋向150-1

TEL 0220-22-8029(相談専用22-8125) FAX 22-9114

HPアドレス <http://www.tome-avc.jp/rese/>

【平成30年度】

毎日暑い日が続きます。さて、夏といえば「おばけ」でしょうか。よく「金縛りになった」という話を聞きます。私もなったことがあります。しかし、これは心霊現象ではなく、医学的には「睡眠麻痺」と呼ぶそうです。目を動かすことと呼吸をすること以外の体の筋が、睡眠中に麻痺する現象だそうです。レム睡眠(脳波は起きている状態)のときにふと目をさますと、脳は起きているので意識はあるものの、体は休んでいるのですぐには動かないと感ずることがあり、これが「金縛り」の正体ということです。また、レム睡眠の時は夢を見るが多く、その夢が幻覚のように現れることがあるそうです。そのため、怖いと感ずるのかもしれませんが。

国語科研修会



6月29日(金)、西郷小学校を会場に国語科研修会が開催されました。

昨年度に引き続き、講師は宮城教育大学名誉教授の相澤秀夫先生です。午前中に音読指導を行い、午後から相澤先生の示範授業、講話という内容

＜相澤先生の示範授業＞でした。

授業に入る前に、15分ほど6年生の子どもたちとのラポートづくりを行っていました。その中で、学習の仕方、声の出し方などを子どもたちと約束をし、さらに、一人一人の名前を呼び、握手をしながら、ラポートづくりを行い、その流れで授業に入りました。

示範授業は6年国語科「風切るつばさ」の一場面です。学習課題は「カララが考えたこと」でした。

示範授業で特に印象に残ったことをいくつかあげてみます。

- ◇ 座席表を使った机間指導で、子どもの考えたことを確実に見取り、発表の順番を意図的に決めている。
- ◇ 従って、指名は教師が意図的に行う。挙手はさせない。
- ◇ 一人一人の発表には必ず賞賛のこぼしを添える。
- ◇ 本時の中心となる部分は何度も何度も音読させ、内容を確実に把握させている。
- ◇ 示範授業の最中でも、参観の先生方にアドバイスを送っている。
- ◇ 子どもたちの集中度が素晴らしい。

他にも、勉強になる部分がたくさんあったようです。45分がまたたく間に過ぎてしまいました。

示範授業の後の講話では、授業の原点ともいえる内容のお話をされていました。

- ◇ 「書く活動」の大切さ ◇ しっかり聞くことの大切さ
- ◇ ペア学習の仕方 ◇ 授業の中の生徒指導
- ◇ 発表のときの声「かしこい声」(大きな声ではない)

その他、この紙面では書ききれないほどの濃い内容の講話でした。

＜参加者の感想(抜粋)＞

- 相澤先生のお話を何うのを楽しみにしています。新たな発見、気づきが多くあり、自分が磨かれる思いです。
- 国語の学習をどう進めていったらよいかを見つけた気がする。
- 国語の授業というだけでなく、教師として授業をつくる上での大切なことを多く学ばせていただいた。
- 相澤先生のこぼしは一つ一つが力があって、短いこぼしなのに多くのことを考えられると感ずいた。
- 焦点化した発問、苦手な子を生かす声がけ、子どものもっとがんばりたいという気持ちを引き出す声がけ、どれも素晴らしい経験となった。

カウンセリング研修会②

7月4日(水)第2回カウンセリング研修会が行われました。講師は総合教育センターの鈴木 豪先生です。

年間3回ある研修会のうちの2回目の研修会となります。



＜講師の鈴木先生＞

「学校不適応児童・生徒の理解と対応」と題してご講話をいただきました。

途中、演習も交えながら、分かりやすくお話しされました。

研修会の概要は以下の通りです。(主な内容のみ掲載)

- ◇ 第1回目の復習
- ◇ 不登校の現状～宮城県は全国ワースト3位
- ◇ 不登校の捉え方
 - 多様な要因・背景による「不登校」→「問題行動」と判断してはいけない。
 - いじめによるストレスから回復するための休養期間
 - 進路選択をする上で自分を見つめ直す等、積極的な意味
- ◇ 登校行動の4条件
 - 登校規範 ○ プラスの学校体験 ○ 心のエネルギー
 - 社会的能力
- ◇ 社会的能力とは
 - 自己表現力、コントロール力、状況判断力、問題解決力、親和的能力、思いやり
 - 本能ではなく学習されて身に付くもの(模倣、反復練習、実践)
 - 保護者が手本を示すだけでなく教師が手本を示すことも大切
- ◇ 「褒め方」による行動の変化
 - 結果を褒める→結果を出せなかったときのことが怖くなる
 - プロセスを褒める→努力は報われ、もう一度挑戦する気持ちに
 - 褒めてもらうために何かをする→褒められないときに傷つく
- ◇ 「褒める」から「勇気づけ」へ
 - 集団に貢献することの喜び
 - 子どもが共感したとき、自ら動きたくなる

＜参加者の感想(抜粋)＞

- 保育の中で問題行動だけが目につき否定される子どもが多いので是非、勇気づけを明日から実践したい。
- 褒め方で行動に変化があることに驚いた。
- もっとその子のよさを見て子どもや保護者に伝えていきたい。

頭の体操コーナー

さ	け	み	ら
っ	か	れ	ー
ぶ	う	す	い
て	い	の	る

あるTV番組で出た問題です。これらの文字を1回だけ使ってできるだけ文字数の多いことばを作ってください。(最高は8文字です。)